

平成 30 年度 平和学習の感想

8月1日に市民会館で平和学習を行いました。前半は和歌山大空襲についての映像を見ました。後半は、生徒会が原爆について描かれた絵本「おりづるの旅」を朗読してくれ、全校生徒で折鶴づくりを行いました。そのときの感想を紹介します。

戦争といえば、今までは東京や沖縄のことがメインだったけど、今回は初めて自分の住んでいる和歌山の戦争に関するDVDを見て、そのことを知れてよかった。過去を振り返って、未来のことにつなげていく大切さを学べた。過去ばかりを振り返るだけではいけないと思うけど、**過去にあったことをふまえて、未来につなげる力にするという点では、過去のことを実際に見たり経験したりしていなくても、知ろうとする気持ちを持ち続けたいなと思った。**今回和歌山で起きた空襲のことを知って、やっぱりどんな理由であろうと戦争をしてはいけないという気持ちが強くなった。

和歌山の空襲について、詳しく書かれたり作られたものを見たことがなかったので、今回学習したことで、生まれ育った和歌山でこんなにも辛いことがあったのだなと初めて詳しく分かった。**今でもこの世の中では、紛争や争いが起こっている。けれど、これからは、もっと互いの意見を尊重し、もっとお互い分かり合**



って、争いをなくしていくことこそが大事なのだなと思った。

和歌山市にも空襲があったこと、その被害が大きかったことを初めて知った。それを忘れさせないための活動があることも知った。自分たちが住んでいる県でそんなことがあったのは驚いた。それについて関心を持てた。「**やった側は忘れるけど、やられた側は忘れない。**」その言葉は正しいと思った。日本は**やった側でもあり、やられた側でもあるから、二度とこんなことをせず、されるようなことをしないでほしい**と思った。

実際に空襲を受けた体験した人たちから話を聞くことで、その時の苦しさや辛さが想像でき、伝わってきた。家族を亡くした人たちや、友人を亡くした人たちの辛さも考えさせられた。今もそんな人たちのために、罪のない人たちが亡くなったことを伝えようとしてくれている人たちがたくさんいる。**私たちにできることは、その苦しさを体験することではなく、その空襲のことを忘れず、心に留めて、次の人へ、またその次の人へと、それを伝えていくことだと学ぶことができた。**

昔に和歌山で空襲があったのは知っていたけれど、今日初めて詳しく知ることができた。現在も戦争をしている国がある事を知り、私がこうして学校に通い、帰ると昼ごはんがあるということが、どれほどすごいことか分かる。でもそれが私の「当たり前」なのだ。今、私はとても幸せだ。こんな幸せが「当たり前」に世界中がなるよう、みんなで支援すべきだ。そのために、**自分の住んでいる市・県・国の過去をよく知り、頭に入れ、どうしたら世界中に「当たり前」の幸せがいきわたるだろうと、自分のことのように考えるのが大切だと思う。**このように、今、和歌山があるのは、戦争を乗り越えたから。きっと「当たり前」の幸せも世界中に広がるはずだと私は思う。

「おりづるの旅」のさだこさんは、小さいときの原爆のせいで病気にかかってしまいました。原爆が落とされたときも吹き飛ばされていました。それを耐えて頑張って、楽しんで過ごしていたのに、原爆病にかかっていると知って驚きました。**それでもさだこさんは「治る」と信じて千羽鶴を作っているのに感動しました。そして、自分たちで折鶴作りをしたときには、このまま平和であればいいなあと思いました。**

「おりづるの旅」の朗読を聞いて、原爆を落とされて、たくさんの方が亡くなっており、原爆の被害が終わっても、病氣と闘わないといけなから、辛いと思います。さだこさんは、必死に病氣と闘いながら折鶴を作っていて、なんとか病

氣が治ってほしいから折っていたと思います。必死に病氣と闘っていたが、亡くなってしまったので残念です。**折鶴作りを通して、僕は世界に日本は平和になってほしいと願っているということが伝わると嬉しいです。**

この本が世界中で有名なことを知って驚きました。でも、原爆があったから戦争が終わったという意見もあるので、この本をただ読んでもらうのではなく、そこから一人ひとりにここに書かれたことをについて考えてもらうことが一番大事だと思います。**僕は、この本を読んで、さだこさんの折った千羽鶴が世界に羽ばたいて平和を訴えていることに感動しました。**今日感じたことを忘れないようにしたいです。

この前、僕は広島原爆ドームを見に行きました。ドーム周辺を車で走っていると、朗読の映像に出てきたさだこさんと鶴の像を見ました。小学生のとき、さだこさんのDVDを見て、最後の方にその像が出てきていました。そのときぐらいから、僕はずっと広島に行きたい気持ちになりました。資料館の中は、とてもみることが辛くなる物でいっぱいだったので、ずっとだま

ってしまいました。**和歌山も広島のような感じだったんだと思うと、戦争というのは、本当に意味がなく、不必要なものだと思**



いました。